

I・TOP横浜「未来の家プロジェクト」 第二回実証実験を開始します！



快適な暮らしをサポートし、将来の社会課題の対応を目指すI・TOP横浜「未来の家プロジェクト」は平成29年12月から平成30年2月までの間に住環境のデータ収集を目的として旭区で実施した実証実験を踏まえ、第二回を泉区緑園で開始します。

今回はグリーンブルー株式会社、三和シャッター工業株式会社、株式会社資生堂、凸版印刷株式会社、foo.log株式会社が新たなメンバーとして加わり、設備の拡充と広範なデータ収集を図り、より充実した結果を求めます。

※本実験は「相鉄いずみ野線沿線 環境未来都市※¹」事業の一環です。

1. 実証実験の概要

(1) 実証実験の内容

IoTスマートホームにて1週間通常通りの生活をしてもらい、実験前後での被験者の状態変化、意識変化、行動変容について評価・検証を行います。

【実証期間】 平成30年6月12日（火）から平成30年9月24日（月）まで

※ 本人同意の上、収集したデータは匿名化をして今後の実証実験の参考にします。

(2) 前回の実験からの追加要素

IoT建材による位置検出や機器制御、撮取した内容に基づく食事アドバイス、美容デバイス・環境測定装置やIoTシャッターを新たに追加します。

※詳細は裏面をご確認ください。



実験実証を行うIoTスマートホーム

(3) 場所

横浜市泉区緑園 4-3-28 相鉄文化会館敷地内

2. 第一回実証実験結果

現在、データからは居住者ごとに生活行動の一定の傾向がみられること、アンケートから健康意識の変容があったことが把握できています。

今後分析を重ねて定量的な評価を行い、公表を目指してまいります。

3. 現地取材について

メディア向けの見学は7月12日（木）を予定しております。

詳細が決まり次第情報提供いたします。

| お問合せ先 | | | |
|-------------------------|-------|------------------|--|
| 経済局新産業創造課長 | 高木 秀昭 | Tel 045-671-3913 | |
| 温暖化対策統括本部環境未来都市推進課 担当課長 | 大蔭 直子 | Tel 045-671-2477 | |
| 建築局住宅再生課 担当課長 | 竹下 幸紀 | Tel 045-671-4458 | |

※本件は、未来の家プロジェクト参画各社と同日発表しています。

【裏面あり】

未来の家プロジェクトの概要及び役割

未来の家
プロジェクト

IoTと人工知能(AI)を通じて高齢者の見守りや
快適で健康的な暮らしを実現するプロジェクト

IoT P 横浜
IoT Open Innovation Platform Yokohama

| | | | |
|---|---|--|--|
|  <p>横浜市 City of Yokohama</p> | 企業へのプロジェクト 参加呼びかけ、実証実験 場所の調整 |  | デバイスで操作できる 化粧品吐出マシンの提供 |
|  | IoTスマートホーム [®] 、IoT アクセス制御エンジンの 提供、データの管理・解析 |  | 実証場所の提供、 地域コミュニティへの展開 |
|  | UI,UXデザイン、IoTプロ ダクトの事業化、事業化に 関するノウハウ提供 |  | 床のセンサーで居住者の 動作情報を収集できる IoT建材によるセンシング |
|  | 環境測定装置の提供、 室内外の空気質の計測、 センサーの妥当性評価 |  | 被験者の健康状態を測定 し、健康アドバイスを行う デバイスを提供 |
|  | デバイスで操作できるIoT シャッターの提供 |  | 食事解析システム・アド バイスの提供 |

第二回実証実験における主な追加・変更内容

IoTシャッターの設置

デバイスで操作できる
シャッターの設置
(三和シャッター工業)



美容デバイスの設置

デバイスで操作できる
化粧品吐出マシンの設置
(資生堂)



食事アドバイス

摂取した食事画像を解析
し、アドバイスを提供
(foo.log)



環境測定装置の設置

屋外に環境測定装置を設置、
室内との差異を計測
(グリーンブルー)



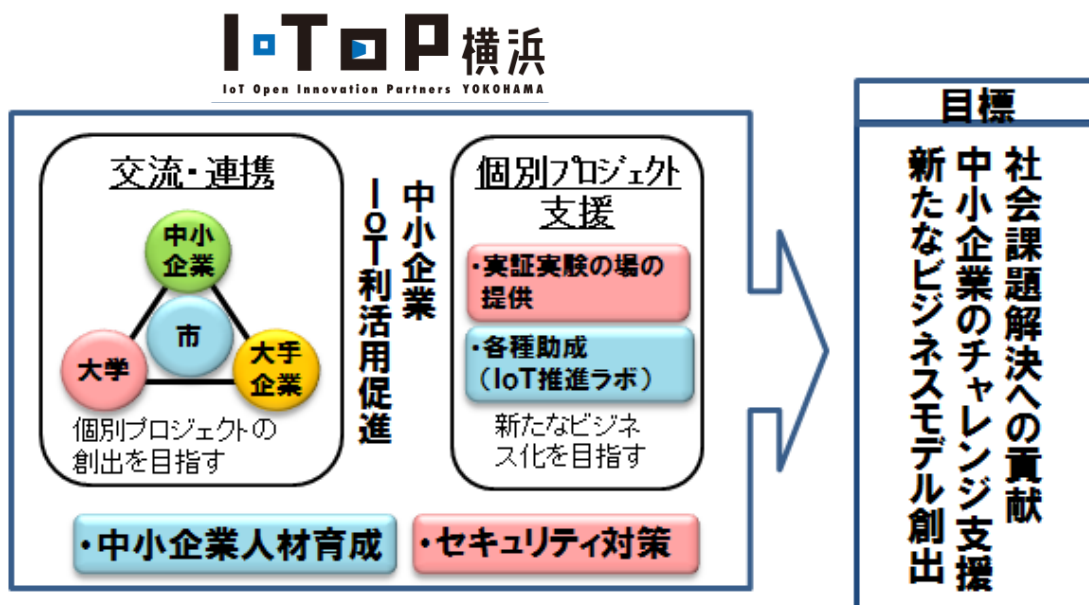
IoT建材によるセンシング

床のセンサーで居住者の
動作情報を収集。
(凸版印刷)



【I・TOP横浜（IoTオープンイノベーション・パートナーズ）とは】

横浜経済の強みである「ものづくり・IT産業の集積」を活かし、IoT等（IoT、ビッグデータ、AI、ロボット等）を活用したビジネス創出に向けた、交流・連携、プロジェクト推進、人材育成等を包括的に進めていくプラットフォームです。これらの取組みから個別プロジェクトを立ち上げ、「新たなビジネスモデル創出」、「中小企業のチャレンジ支援」、「社会課題解決への貢献」を目標としています。



I・TOP横浜ウェブサイト
URL : <http://itop.yokohama/>



【未来の家プロジェクトとは】

平成29年6月に発足した、住空間におけるIoTを活用して集積したデータを居住者にフィードバックし、快適で健康な暮らしをサポートし、将来の高齢者の独り暮らしや災害時の対応を目指す取り組みです。

未来の家プロジェクトウェブサイト
URL : <http://mirainoie-project.jp/>